

都市再生整備計画

つしまし まちなか 歴史・文化(駅周辺) ちく
津島市まちなか歴史・文化(駅周辺)地区

あいち つしまし
愛知県 津島市

令和4年1月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	津島市	地区名	津島市まちなか歴史・文化(駅周辺)地区	面積	83 ha
-------	-----	------	-----	-----	---------------------	----	-------

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	交付期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度
------	-------------------	------	-------------------

<p>目標</p> <p>大目標:歴史・文化が息づく魅力あるまちづくり 目標①:歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承 目標②:安心・安全な道路交通の確保及びアクセスの利便性向上 目標③:まちなかの賑わい創出</p>
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>・本地区は、古くから津島神社の門前町及び木曾川の支流であった天王川の水利を活かした湊町として経済的文化的に発展し、明治以降は毛織物産業で栄え、各工場に全国各地から若い女性がたくさん集団就職するなど、まちは活気に溢れていた。 ・しかし、毛織物産業は、昭和25年頃が最盛期で昭和30年代から衰退し始め、その後もオイルショックやバブル経済崩壊過程での急激な円高、中国等の途上国からの安い製品の流入等により衰退するとともにまちなかの賑わいは失われていった。 ・こうした状況の中でも、本地区は今も歴史的価値の高い建造物が集まるとともに歴史と伝統が反映された人々の活動が継承され、それらが一体となって津島市固有の良好な市街地環境(歴史的風致)を形成していることから、平成27年度から令和元年度にかけて、都市再生整備計画事業(以下「I期計画」という。)により、歴史・文化が息づく魅力あるまちづくりを推進してきたところ、まちづくりに取り組む市民活動団体は大幅に増え、祭時のみならず平時の観光客も増加し、まちなかが活性化し始めた。 ・一方で、歴史的建造物は所有者の高齢化・後継者不足や修理・修復に多額の費用を要することから減失や改変が進みつつあり、人々の活動も近年の少子高齢化や価値観の多様化等により担い手が不足してきていることから、歴史的風致の維持及び向上を目的に、I期計画において、平成30年度、令和元年度の2力年で学識経験者や関係団体、地域住民等の助言・意見等を踏まえ、津島市歴史的風致維持向上計画(以下「歴まち計画」という。)を策定した。 ・また、I期計画の実施による観光客の増加に伴って自動車の往来が増えたことも相まって、歴史的建造物や伝統文化活動場所等への安心・安全な道路交通の確保及びアクセス利便性向上の必要性が増している。 ・これらのことから、II期計画として、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承、I期計画の実施により必要性が増した道路整備等を行い、歴まち計画において本地区で挙げられている3つの歴史的風致である「尾張津島天王祭にみる歴史的風致」、「津島駅西地区の山車祭、石採祭にみる歴史的風致」、「茶の湯文化にみる歴史的風致」の維持及び向上を図り、I期計画で実施した歴史・文化が息づく魅力あるまちづくりをさらに推進し、まちなかの活性化をもう一段前に進めていく。</p>
--

<p>課題</p> <p>①歴史的建造物は、地域が有する歴史や文化を伝える役割を有しており、その活用が重要であるので、多くの地域住民等が、歴史的建造物に触れ、その歴史や文化の価値を感じる機会を十分に設けることが課題である。また、歴史的建造物を活用し、地域に息づく伝統行事や慣習の紹介、市民活動団体や学校等と連携して文化財の学習や認識向上の機会を増やし、伝統文化活動に対する認識や保護活動に対する理解を地域住民等の中に十分に浸透させることが課題である。 ②歴史的建造物や伝統文化活動場所への重要なアクセス道路である市道橋詰見越線の一部未整備区間を整備することにより、地域住民や伝統文化活動の担い手、観光客等の安心・安全な道路交通の確保及びアクセスの利便性を向上させることが課題である。 ③歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承、アクセスの利便性向上等により来訪者の増加を図り、まちなかに賑わいを一層創出することが課題である。</p>
--

<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【第4次津島市総合計画(平成23年3月策定、平成28年3月改定)】 ・基本施策「文化の継承と創造」-文化財等の保護・継承、郷土の歴史的遺産の活用、堀田家住宅等の管理運営、文化・芸術活動の充実と支援 ・基本施策「個性豊かな都市景観の形成」-都市景観の保全・形成 ・基本施策「身近に憩える公園等の確保」-公園・緑地の整備と魅力化、公園・緑地の管理 ・基本施策「安全な道路交通環境の確立」-快適・便利を実現する道路事業の促進、安心・安全を実現する道路機能の向上 ・基本施策「交流産業の振興」-観光サービスの充実、受入れ体制の整備、観光PRと情報発信 【津島市都市計画マスタープラン(平成21年10月)】 ・歴史を大切にし、教育と文化のまちを未来へつなぎ、育てる ・安全で行き来しやすい環境をつくる ・住む人と訪れる人のための生活と交流の場をつくり、豊かなコミュニティを守り、育む 【津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略】 ・基本目標「人の交流・活動を活発にし、都市イメージを改善する」-歴史・文化を活かしたまちづくり、シティプロモーションの展開</p>
--

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
①年間観覧者数	人/年	国指定重要文化財である堀田家住宅の年間観覧者数	年間観覧者数を増やすことで、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承を図る。	2,436人/年	平成30年	5,000人/年	令和6年
②アクセス時間	分	今市場町4交差点から津島神社までのアクセス時間	アクセス時間を短縮することで、安心・安全な道路交通の確保及びアクセスの利便性向上を図る。	12分	令和元年	6分	令和6年
③年間観光客数	人/年	藤まつり、天王祭、秋まつり、津島神社、観光交流センターの観光客数を合計した数	年間観光客数を増やすことで、まちなかの賑わい創出を図る。	1,640,169人/年	平成29年	1,700,000人/年	令和6年

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【①歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良事業により歴史的建造物や伝統文化活動場所へのアクセス利便性を向上させることで、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承を図る。 ・石探祭車の収蔵庫や歴史的建造物周辺の天王祭の稚児行列又は秋まつりの山車ルートである小路等を祭に調和するように整備して魅力を高めることで、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承を図る。 ・文化財等の保存・継承に必要な調査を行い、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承を図る。 ・歴史文化遺産の案内板整備や学習機会を設けることにより、地域住民等に歴史文化遺産に対する認識向上や保存・継承に対する理解を深めてもらい、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承を図る。 ・歴史的建造物や天王祭・茶の湯文化にみる歴史的風致に係る天王川公園の整備により地域住民等の歴史的建造物に触れる機会や伝統文化活動の認識向上の機会を増やし、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承を図る。 ・祭や文化振興の活動を支援することにより、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承を図る。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良事業(市道橋詰見越線) <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査:尾張津島秋まつり調査事業 ・歴史文化遺産案内板整備事業(バス停周辺地区) ・道路美装化・小路整備事業 ・歴史文化遺産案内板整備事業(津島駅西地区) ・天王川公園整備事業 ・歴史的建造物保存・活用事業 ・尾張津島天王祭保存・振興事業 ・尾張津島秋まつり保存・振興事業 ・歴史・文化学習事業 ・茶の湯文化振興事業 ・事業効果分析調査事業
<p>【②安心・安全な道路交通の確保及びアクセスの利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良事業及び天王通りの歩行者優先の歩道整備を進めることにより、地域住民や伝統文化活動の担い手、観光客等の安心・安全な道路交通の確保及びアクセスの利便性向上を図る。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良事業(市道橋詰見越線) <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路美装化・小路整備事業 ・事業効果分析調査事業
<p>【③まちなかの賑わい創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良事業により歴史的建造物や天王川公園等へのアクセス利便性を向上させて来訪者を増やし、まちなかの賑わい創出を図る。 ・通年で歴史文化遺産の活用・振興を図り、まちなかの賑わい創出を図る。 ・道路美装化・小路整備や道路照明建替美装化により歴史文化遺産を繋ぐネットワークの向上を図り、まちなかの賑わい創出を図る。 ・歴史文化遺産の案内板整備により回遊性や利便性を向上させ、まちなかの賑わい創出を図る。 ・天王川公園内にある老朽化した藤棚の改修等により来訪者・利用者を増やし、まちなかの賑わい創出を図る。 ・津島の歴史・文化の魅力を地域住民等と協力して発信することにより来訪者を増やし、まちなかの賑わい創出を図る。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良事業(市道橋詰見越線) <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化遺産案内板整備事業(バス停周辺地区) ・道路美装化・小路整備事業 ・歴史文化遺産案内板整備事業(津島駅西地区) ・天王川公園整備事業 ・歴史的建造物保存・活用事業 ・尾張津島天王祭保存・振興事業 ・尾張津島秋まつり保存・振興事業 ・茶の湯文化振興事業 ・津島の歴史・文化魅力発信事業 ・道路照明建替美装化事業 ・事業効果分析調査事業
<p>その他</p>	

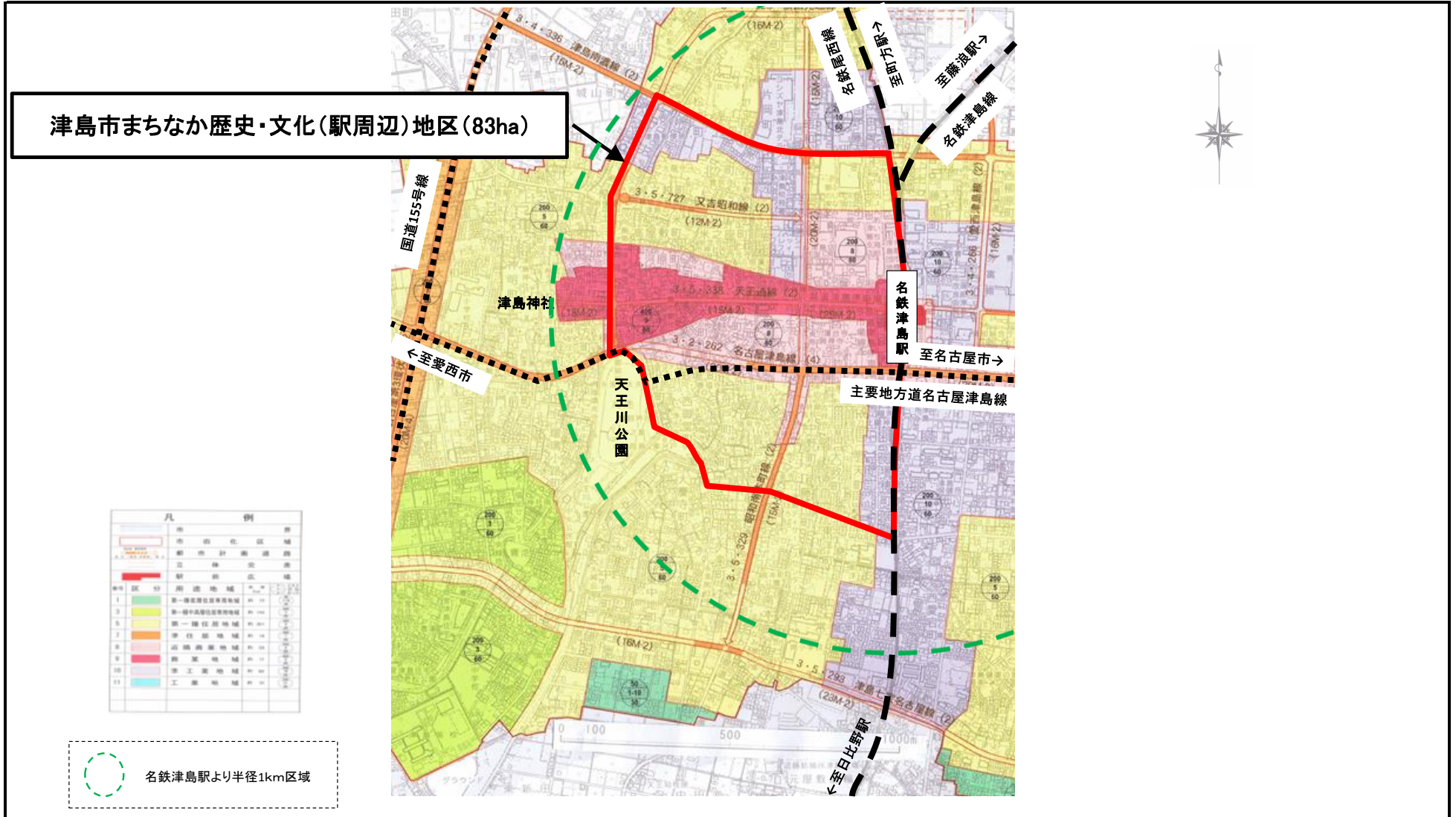
津島市まちなか歴史・文化地区(愛知県津島市)

面積

83 ha

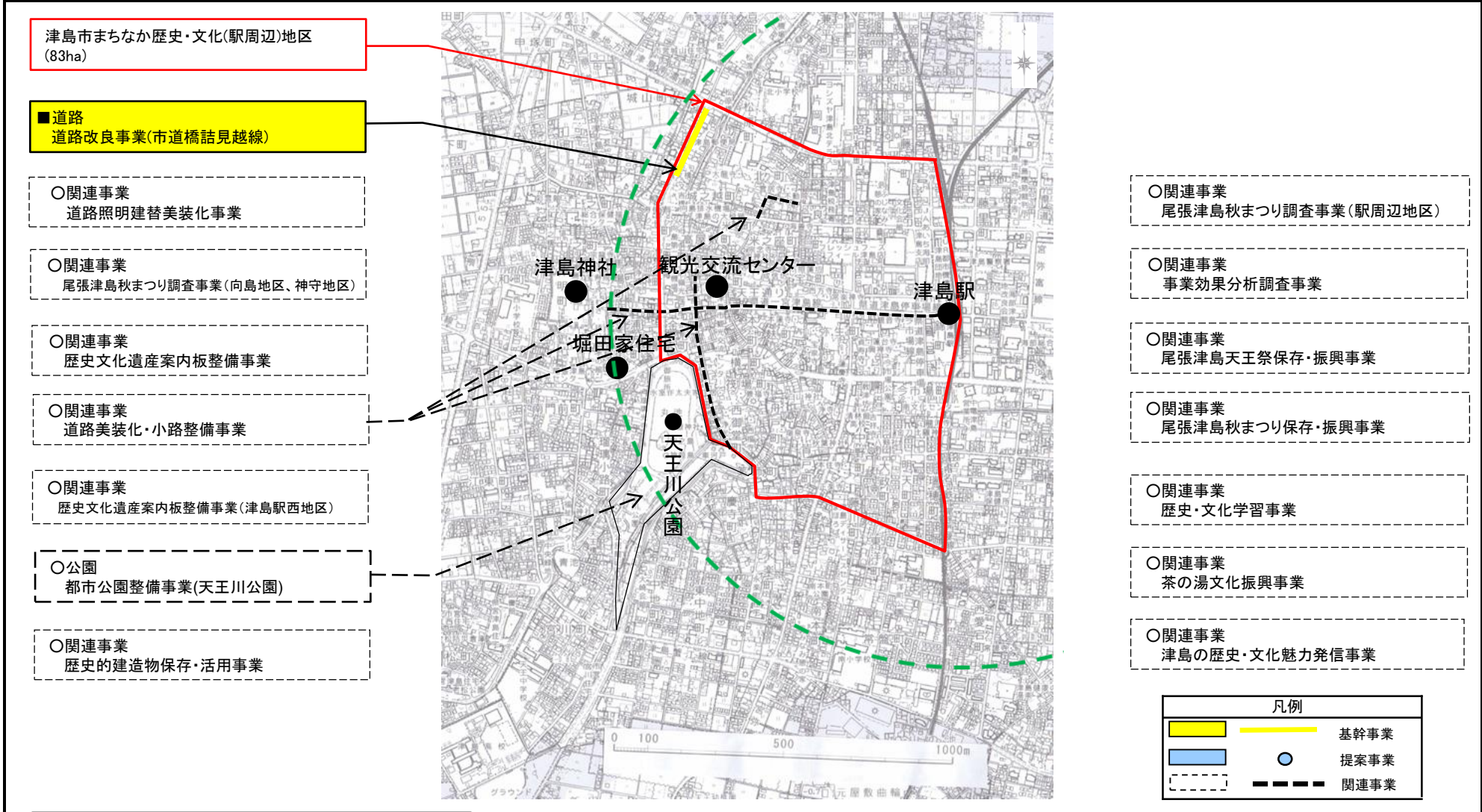
区域

天王通り5丁目地内外



津島市まちなか歴史・文化(駅周辺)地区(愛知県津島市) 整備方針概要図

目標	大目標: 歴史・文化が息づく魅力あるまちづくり	代表的な指標	年間観覧者数 (人/年)	2,436人/年 (30年度)	→	5,000人/年 (6年度)
	目標1: 歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承		アクセス時間 (分)	12分 (元年度)	→	6分 (6年度)
	目標2: 安心・安全な道路交通の確保及びアクセスの利便性向上		年間観光客数 (人/年)	1,640,169人/年 (29年度)	→	1,700,000人/年 (6年度)
	目標3: まちなかのにぎわい創出					



津島市まちなか歴史・文化(駅周辺)地区 (83ha)

■ 道路
道路改良事業(市道橋詰見越線)

○ 関連事業
道路照明建替美化事業

○ 関連事業
尾張津島秋まつり調査事業(向島地区、神守地区)

○ 関連事業
歴史文化遺産案内板整備事業

○ 関連事業
道路美化・小路整備事業

○ 関連事業
歴史文化遺産案内板整備事業(津島駅西地区)

○ 公園
都市公園整備事業(天王川公園)

○ 関連事業
歴史的建造物保存・活用事業

○ 関連事業
尾張津島秋まつり調査事業(駅周辺地区)

○ 関連事業
事業効果分析調査事業

○ 関連事業
尾張津島天王祭保存・振興事業

○ 関連事業
尾張津島秋まつり保存・振興事業

○ 関連事業
歴史・文化学習事業

○ 関連事業
茶の湯文化振興事業

○ 関連事業
津島の歴史・文化魅力発信事業

凡例

■ (Yellow)	— (Yellow)	基幹事業
■ (Blue)	● (Blue)	提案事業
- - - (Dashed)	- - - (Dashed)	関連事業

--- (Green Dashed)
都市再生整備計画区域
(名鉄津島駅から半径1km)